

いこいの村 酒牛又

題字 とくらの家

2017年(平成29年)1月20日発行

第416号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害センター
所長 岩本 幸子

編集 いこいの村編集委員会
〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>



いこいの村 栗の木寮・梅の木寮の
今年の年男・年女

※絵：栗の木寮の仲間(利用者)

新年あけましておめでと
うございます。

例年、いこいの村所長の年明けは、元旦に配食サービス利用者宅におせちを持って伺うことから始まりました。しかし、正月の商店の営業等、三が日の食糧事情も時代とともに変化し、ご希望者が減ったことから、今年から取りやめとさせていただきます。

何か物足りない思いもありますが、大切なのは、その時々利用者の方の要望に合わせた支援を行っていくことです。

開所から36年目を迎える栗の木寮、26年目の梅の木寮そして地域の皆様の変動する課題と一緒に向き合い、一緒に歩む一年にしたいと思えます。本年も変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。



いこいの村
聴覚言語障害センター
所長 岩本 幸子

介護のワンポイント **拡大版**

冬に怖い

感染症



冬本番！この時期に、例年
もれなく目にするもの。それ
は『インフルエンザ・感染性
胃腸炎(腸風邪)の流行』の
記事ですよね。

今年は、インフルエンザの
流行が昨年より1カ月半も
早くやってきました。ノロウ
イルスに代表される感染性胃
腸炎(腸風邪)の感染は昨年
のピーク時の2倍に上る勢
いで、「過去10年でも2番目
の多さ」と報道されています。
その上、今シーズンの最近
流行しているなかったタイプで
流行しやすいとの情報まで出
ています。

《インフルエンザ》
インフルエンザはわずか
1個のウィルスが体内に入

ると24時間後には100万個を
超えるまでに急速に増殖する
と言われており、強くて早い
症状の進行が特徴です。

	腸風邪(かぜ)	インフルエンザ
発症時期	一年を通じて散発的	冬場に流行
主な病状	上気道症状	全身症状
病状の進行	遅徐(ゆっくり)	急激
発熱	一般に微熱(37~38℃)	高熱(38℃以上)
主症状 (発熱以外)	・くしゃみ ・喉の痛み ・鼻水、鼻詰まり	・ゼキ・喉の痛み ・鼻水 ・全身倦怠感、食欲不振 ・関節痛、筋肉痛、頭痛

《感染性胃腸炎》

通称『腸風邪』と呼ばれる
もので、主な症状は、むかつ
き・嘔吐・下痢・腹痛・発熱

など。特に子どもや高齢者が
感染すると、脱水症状を引き
起こし、危険な状態になるこ
ともあります。



どんなふうにうつるの?

これらの感染症は感染力が
強く、体内に入る菌がわずか
でも発症します。感染した人
の体から出る吐物、便、痰、
鼻水などから、
①それらを触れた手から口へ
②乾燥して空気中に舞い上が
った菌を吸い込んで
③咳やくしゃみによって空気
中に撒かれた菌を吸い込んで
感染します。

菌は私たち
の目には見えま
せん。たくさん



の人が集まることや触れる
場所には、たくさん菌がい
ます。例えばトイレの手すり
やドアノブ、便座、レバーな
どは菌の温床です。バスや電

車、集会などの人の密集する
ところも、この季節、空気中
にたくさん菌が潜んでいる
のです。

家族に症状が出たら?

もし、ご家族の誰かに嘔吐
や下痢の症状が出た場合、そ
れらの排泄物の中には菌がた
くさんいると思ってください。
処理のポイントは

- ①排泄物を素手で触らない。
(使い捨て手袋やナイロン袋
を手にはめて処置)
- ②排泄物は新聞紙等ですぐに
覆って拭きとり、ナイロン袋
に入れ密封して捨てる。
- ③汚れた箇所を広範囲に消毒
液できれいに拭く。(塩素系漂
白剤のハイターやブリーチ等
を100倍に薄めた液。アルコー
ルは効果が薄い)
- ④片付けが終わった後は必ず
石けんを使い流水で手を洗う。
そのほか、家族間でも他の
人と同じ手拭きを使わないこ
と、ドアノブや便器等を消毒

するところで家族内の蔓延を防
ぐことができます。

予防方法は?

- ①最も有効なのは
手洗い！
帰宅時、トイレの
後、食事の前には
石けんと流水でしっかり手を
洗いましょう。
- ②マスクを着用しましょう。
マスクは空気中の菌の吸い込
みを防ぐだけでなく、手に着
いた菌が無意識に口に運ばれ
てしまうのを防いでくれます。
- ③規則正しい生活で免疫力を
落とさないよう心がけましょ
う。栄養不足、睡眠不足は最
大の敵です！



日頃から予防を意識し、気
を緩めることなく、この流行
期を乗り切らしましょう。

(梅の木寮・医務課

吉田京子)





いろいろ ⑧

「JYUJYUJYU」

私は生後の力目で、高熱が原因で耳が聞こえなくなりました。2歳から補聴器をつけ始め、相手の口の動きに集中して何を言っているのか読み取る練習【読唇術】、風車を利して発音の練習【口話訓練】をしました。

小学校では、口の形と手の動きで言葉を表す【キューサイン】と口話練習・読唇術を通して「こっぴ」を習得してきました。読唇術では読み取りまちがいの多い「こっぴ」の意味を理解するのに数年かかってやっと身に付けたことが数えきれないほどあります。

小・中学校時代は、音声による「こっぴ」の獲得の環境にいたのですが、意味や使い方がわからないまま発言していました。



高校生になり、専門学校で友人たちと日常的に手話で会話をし、手話と音声に囲まれた環境に大きく変わりました。たくさん「こっぴ」や使っている方が手話を使うようになって身に付くようになり、自分自身で判断して発言するようになりました。それから、楽しく「こっぴ」に親しみをもちながら過しました。

子どもたちと関わる中で

耳が聞こえなくなった時点

で、自分自身を受け入れ、手話・音声による「こっぴ」獲得の環境があったら良いと思います。また、遊びを通してルールや発想力・想像力を身につけて、自分自身のコミュニケーション力を高め、更に日本語習得による正しい接続詞の使い方等を、身につけることを大切にしていきたいです。

今後、放課後等ティサービスを利用して子どもたちと一緒に楽しく「こっぴ」と「正しい日本語」を身に付けられるよう支えていきたいと思えます。

(舞鶴市聴覚障害児)

放課後等ティサービス

市村 由希子

放課後デイでも「こっぴ遊び」をしながら日本語習得中♪



1月20日 ゆず風呂で初風呂をしました

梅の木寮



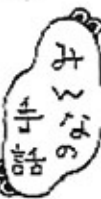
気持ちよいわー

「元日は幸せや福まで洗い流さないように」などの言い伝えから、初風呂は1月2日に入るといふ習わしがあるそうです。梅の木寮でも1月2日、寝台浴をご利用いただいている方々に初風呂ですっきり汗を流していただきました。

今年の初風呂には、職員の家で実ったゆずを持って来て、湯船に浮かべました。「よい香りがします」と入浴いただいた方にも好評でした。

ゆずの木は寿命が長く病気にも強い木なので、無病息災・健康長寿の願いを込めてお風呂に浮かべられるとも。ゆず風呂効果で、今年も1年皆さんが健康にすごせますように。

(梅の木寮 四方 美実)



<風呂>

右こぶしを体を洗うように上下に動かす。

ゆず風呂

<ゆず>+<風呂>



<ゆず>

左5指をすぼめて上に向け、右人差し指で左手をかすめるように前に出す。(ゆずの皮を削るイメージ)

